

損益計算書の見方

損益計算書の見方について、構造を把握してもらうための概念図です。OHPシートまたは手配りシートとして、活用してください。

● インストラクション手順例

1) (OHP またはシートを参照しながら)

2) (損益計算書の概略を説明後)

「損益計算書からは、ある期間にどれだけ儲けたかということと、どんな儲け方をしたか、ということが読み取れます。

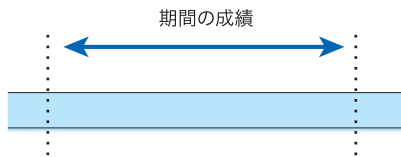
基本的に、“収益” から “費用” を引いた額が “利益” つまり “儲け” となります。最終的な “儲け” は一番下にある「当期利益」の数値です。

このほか、損益計算書には、3つの収益源、4つの費用、5つの利益という指標がありますので、順を追って説明しましょう。

まず、第一の収益源となるのが売上高です。これは会社本来の営業活動によって得られた収益源です」。

… (以下、補足資料の『損益計算書の構造』、『損益計算書の科目』を参考に、順を追って説明)

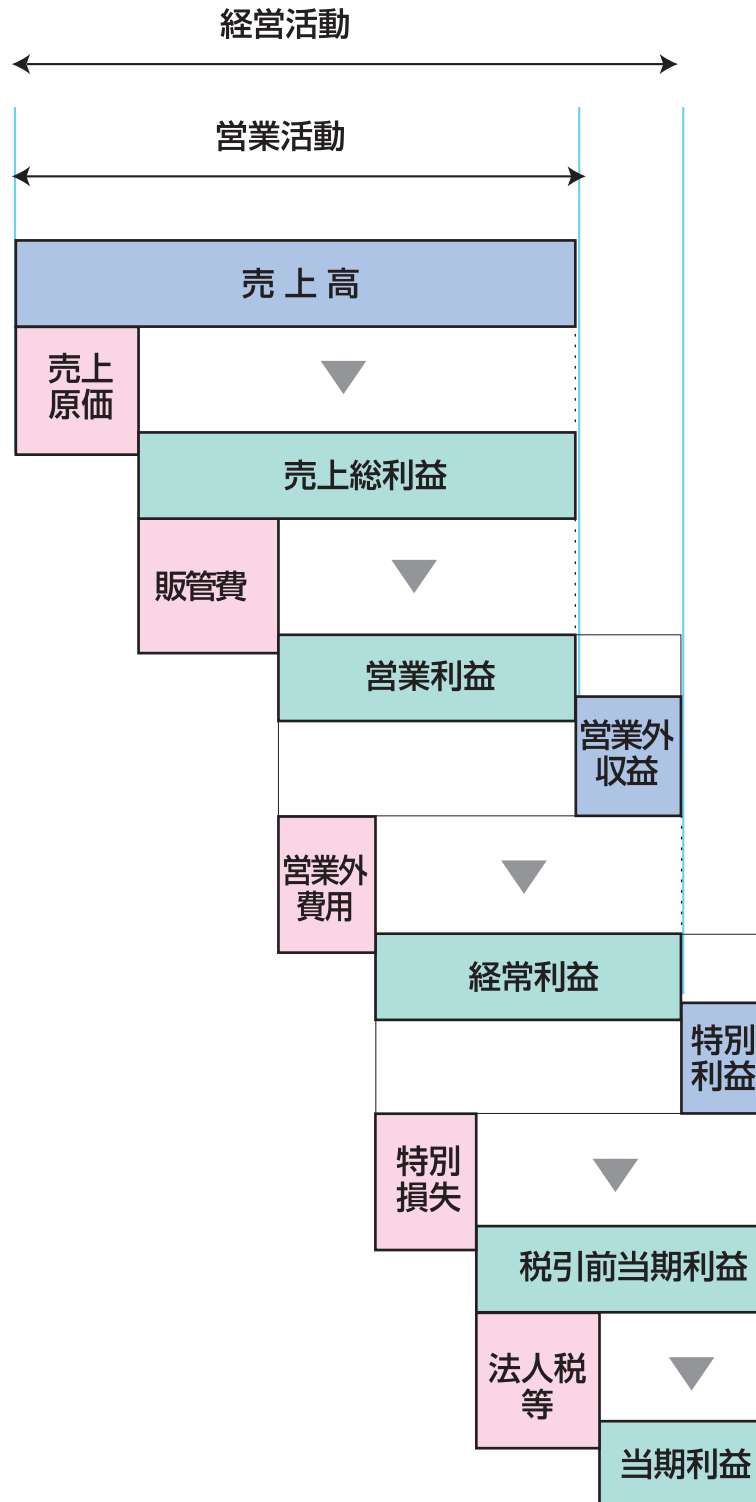
■ 損益計算書（収益 / 費用 / 利益）



損益計算書とは、ある期間の経営成績を表す。

3つの収益	● 売上高	+)	320,000	
	● 売上原価	-)	240,000	
	● 売上総利益		80,000	
4つの費用	● 販売費および一般管理費	-)	68,480	
	● 営業利益		11,520	
	● 営業外収益	+)	1,600	
	● 営業外費用	-)	3,140	
5つの利益	● 経常利益		9,980	
	● 特別利益	+)	40	
	● 特別損失	-)	220	
	● 税引前当期利益		9,800	
	● 法人税等	-)	5,720	
	● 当期利益		4,080	

■ 補足資料 -1 : 損益計算書の構造



■ 補足資料 -2 : 損益計算書の科目

